



ワークショップ 1

「朝起きてから何をしましたか？」

これからやること

- 朝起きてから何をしましたか？
 - － 今朝起きてから家を出るまでを思い出してみてください

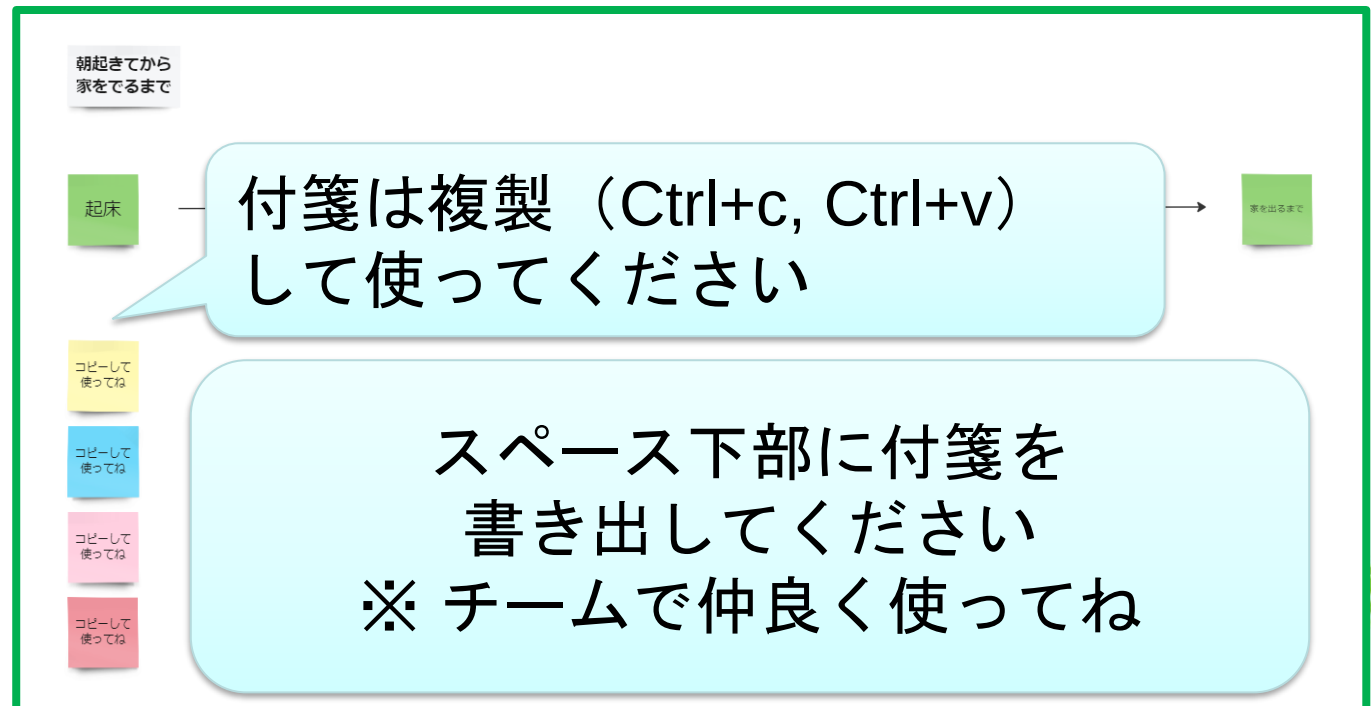
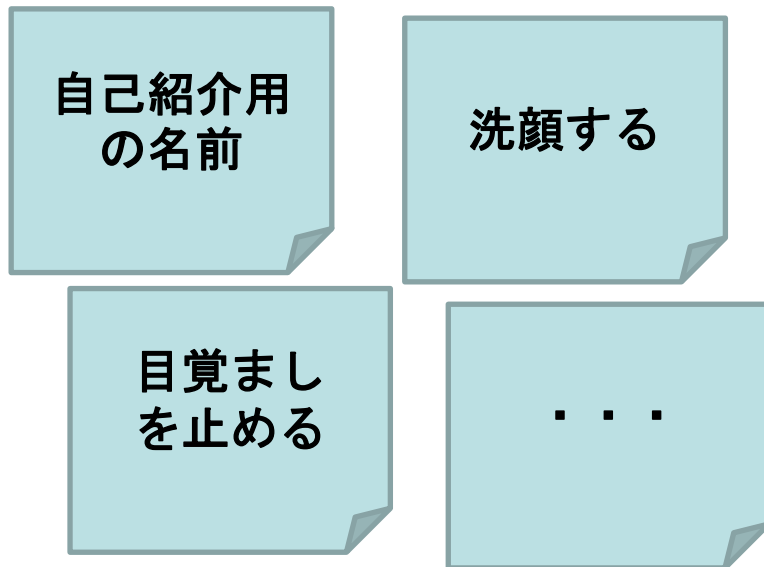


ワークショップ 1 の流れ

- **ワーク 1 概要説明（ワークはまだ）**
 - 朝起きてからしたことを書き出そう
 - チームで共有しよう
 - チームで合意して時系列順に並べよう！
- **グループ作業の説明**
- **ワーク 1 実施**
- ...

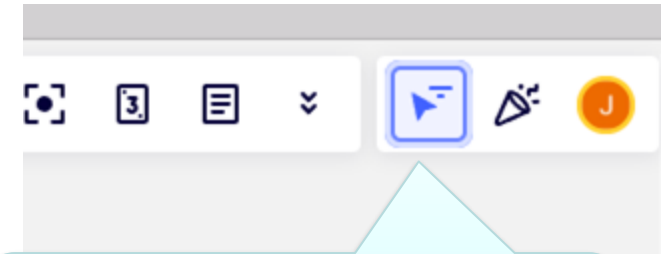
朝起きてからしたことを書き出そう（個人ワーク、5分）

- 自分の名前を書いた付箋を1枚用意しよう
- 朝起きてから家を出るまでしたことを付箋に書き出そう
 - － 深く考えすぎずなるべくサクサクとたくさん書き出そう
 - － 文章にせず、1項目1枚で記載しよう



チームで共有しよう（5分+5分）

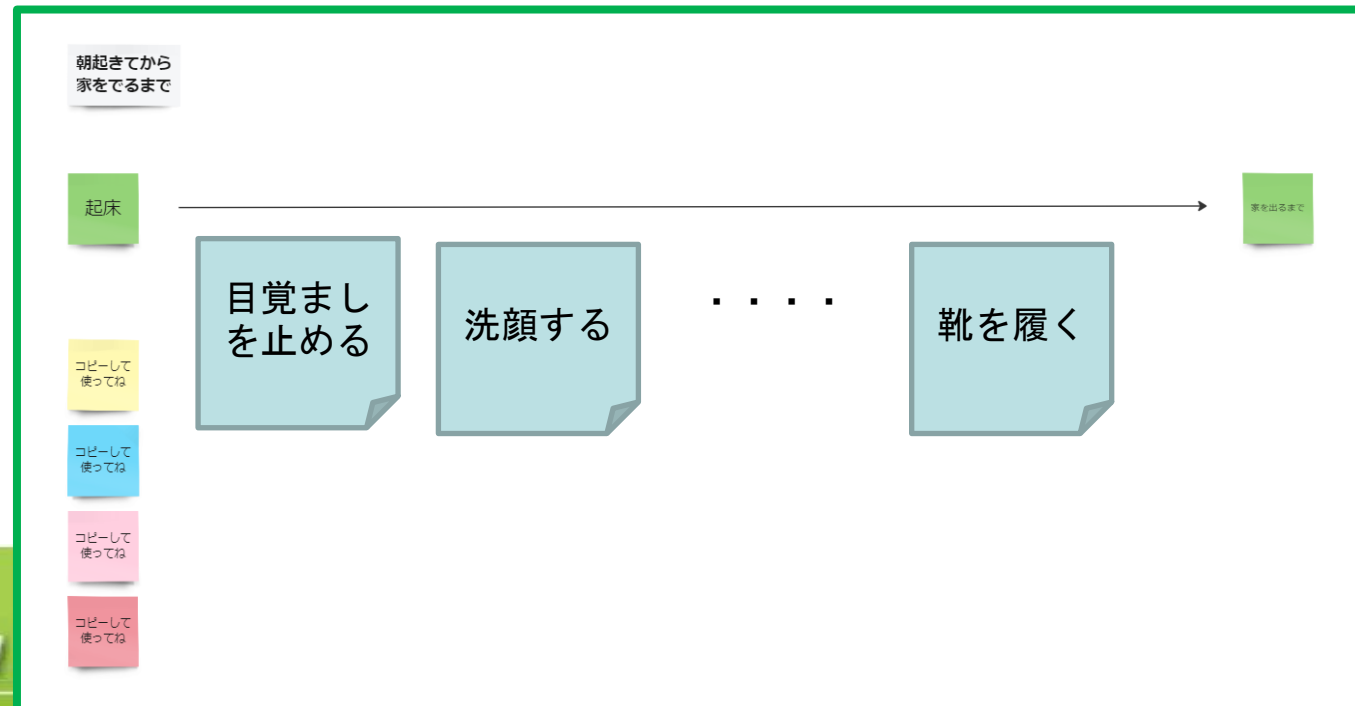
- まずは自己紹介をしよう（1人1分、計5分）
- 朝起きてから家を出るまで何をしたかを共有しよう（5分）
 - 先ほど作成した付箋を説明しながら、下に配置していきましょう



他の参加者の
カーソルが見えます

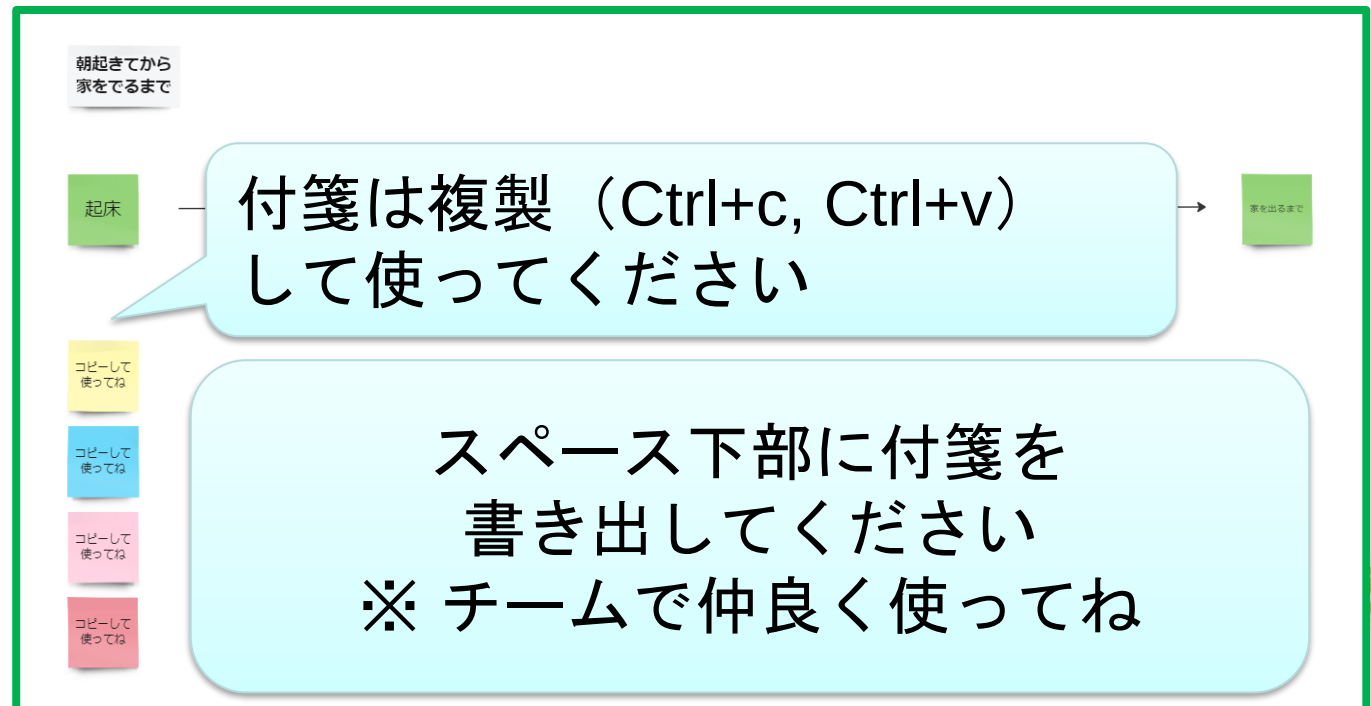
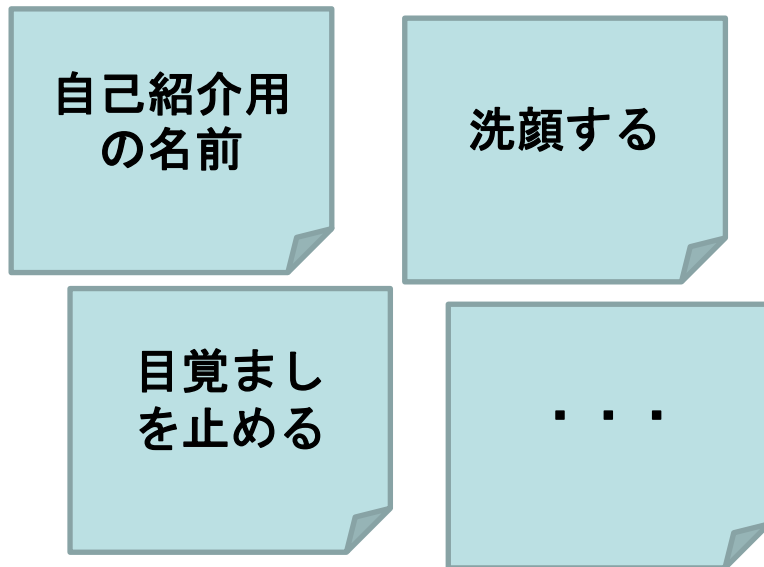
チームで合意して時系列順に並べよう（5分）

- 「起床」→「家を出るまで」の線の下に並べよう
 - － 過去から未来へと左から右へ、似たような付箋は上下にまとめます
 - － 自分の順番と違ってても（洗顔は食事前、食事後とか）チーム内での順番として整理します
 - チームで納得した形で並べましょう（正解はありません）



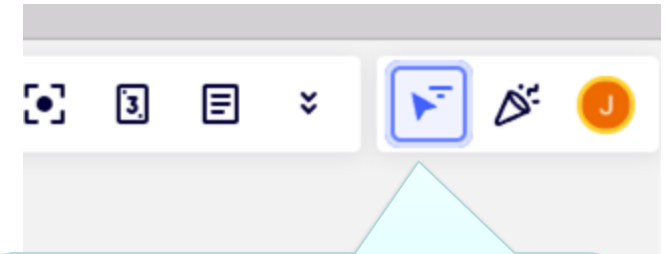
朝起きてからしたことを書き出そう（個人ワーク、5分）

- 自分の名前を書いた付箋を1枚用意しよう
- 朝起きてから家を出るまでしたことを付箋に書き出そう
 - － 深く考えすぎずなるべくサクサクとたくさん書き出そう
 - － 文章にせず、1項目1枚で記載しよう



チームで共有しよう（5分+5分）

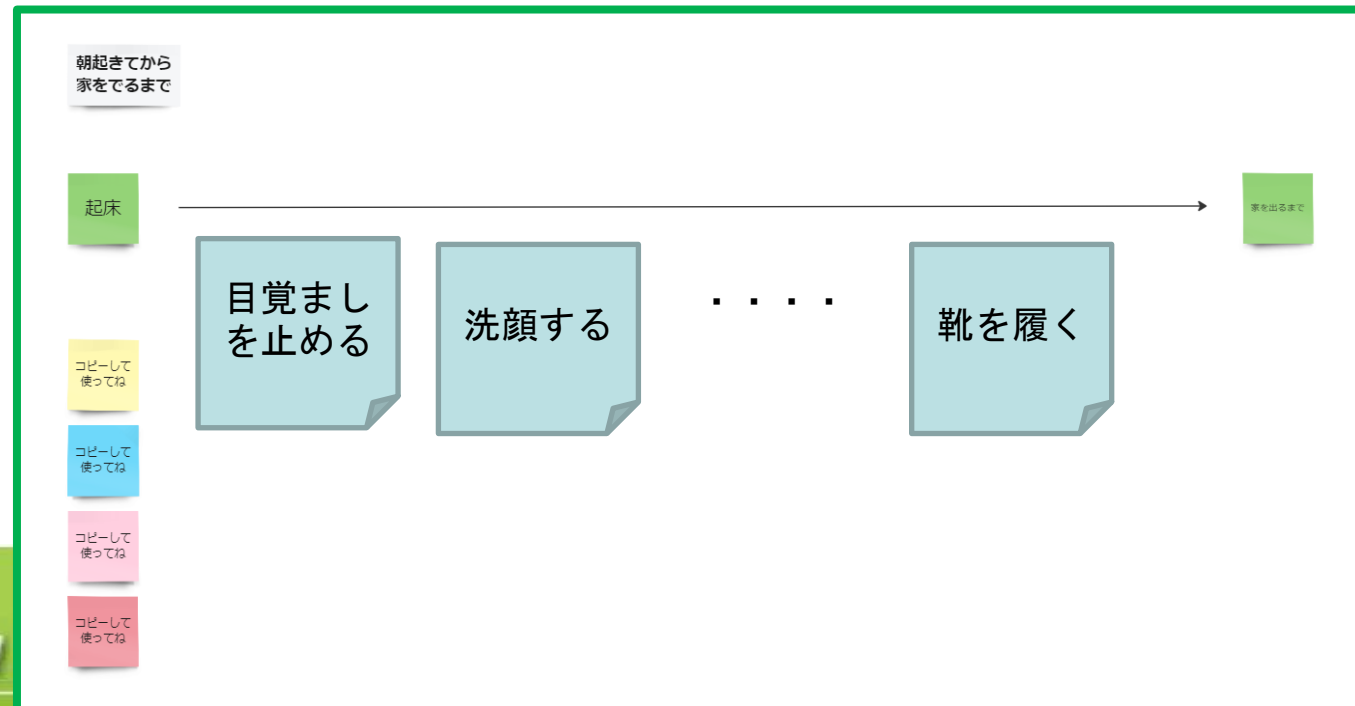
- まずは自己紹介をしよう（1人1分、計5分）
- 朝起きてから家を出るまで何をしたかを共有しよう（5分）
 - 先ほど作成した付箋を説明しながら、下に配置していきましょう



他の参加者の
カーソルが見えます

チームで合意して時系列順に並べよう！（5分）

- 「起床」→「家を出るまで」の線の下に並べよう
 - － 過去から未来へと左から右へ、似たような付箋は上下にまとめます
 - － 自分の順番と違ってても（洗顔は食事前、食事後とか）チーム内での順番として整理します
 - ・ チームで納得した形で並べましょう（正解はありません）



ワーク 1 (20分)

- 朝起きてからしたことを書き出そう (個人ワーク、5分)
- まずは自己紹介をしよう (1人1分、計5分)
- 朝起きてから家を出るまで何をしたかを共有しよう (5分)
- チームで合意して時系列順に並べよう (5分)

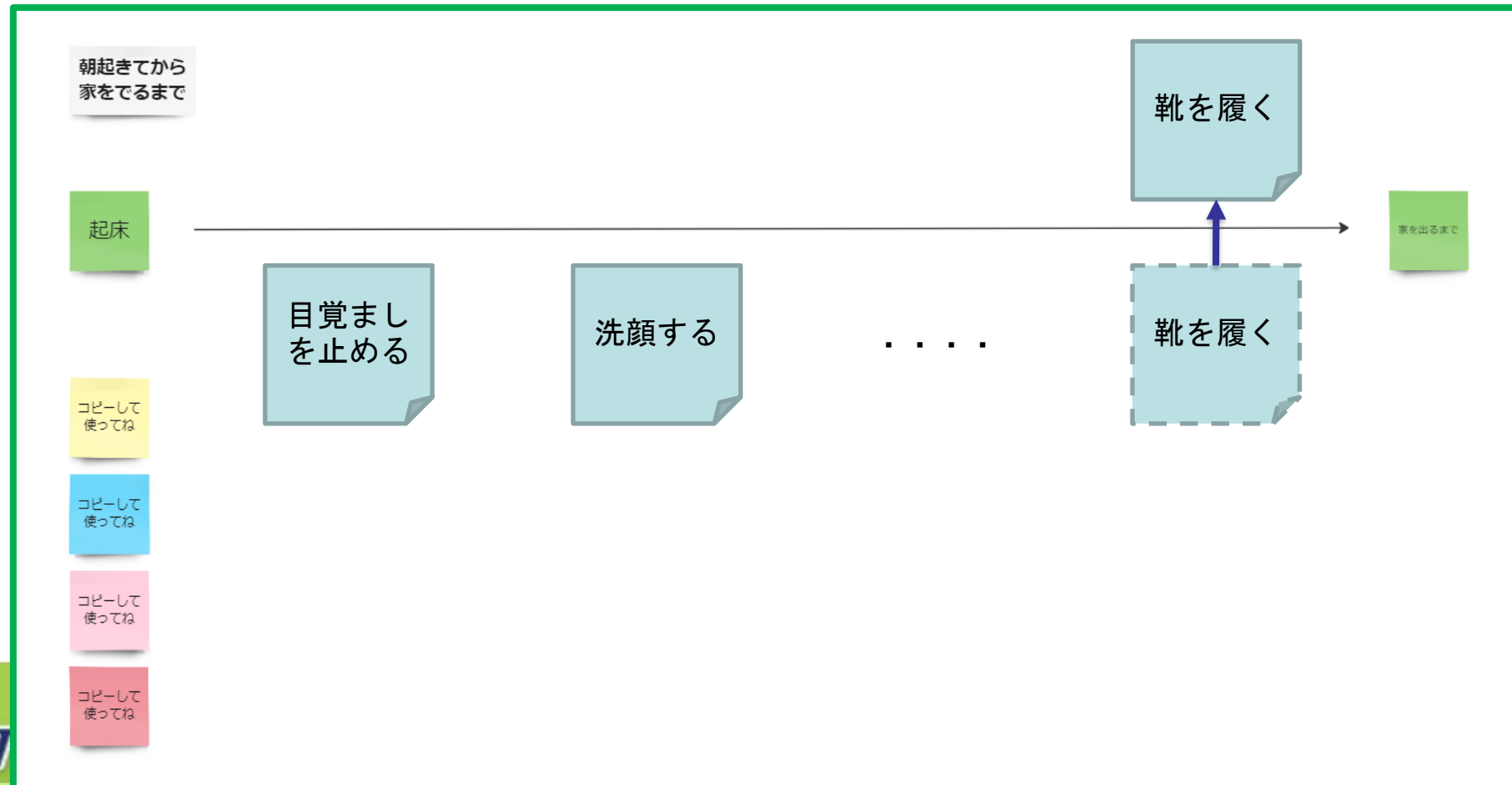
大変だ！寝坊した！！

- 後5分で出かけなければなりません！！
- 朝の準備を考えてください！
 - 先ほど共有して時系列順に並べたものから5分で出かけるために必要な付箋を選んでください



🕒 後5分で出かけるための準備を考えよう！（5分）

- 先ほど並べたものから、後5分で出かけるために必要な付箋を選んで、線の上に移動してください



他のチームと共有しよう（5分）

- 他のチームの成果物を見て自分とのチームの違いを確認しよう
 - － オンサイト：隣のチームのものを見てみよう
 - － オンライン：他のチームのワークスペースを見てみよう
- チームで出かけるために必要だと選んだもの（価値あるもの）は何でしたか？

朝起きてから何をしましたか？

- 出かけるために必要だと選んだものは個人立場や考えが異なる
 - － 子供がいる（朝食は価値あるもの）
 - － 接客業（身だしなみは価値あるもの）
 - ・ 髭剃り、化粧等
- 5分で出かける準備をするという行為でも価値感によって異なる結果になる



起床

目覚まし
を止める

着替える

財布を持
つ

靴を履く

家を出る
まで

洗顔する

朝食を
食べる

MVP (Minimum Viable Product)

- 価値を提供できる最小限のプロダクト
 - 重要な価値を最小限で構築して、顧客に提供する
 - エンジニアのリソースを最も価値が高い開発に用いる
- ※ このワークでは朝起きてから家を出るまでの
特に価値が高い行動を選んでもらいました
- 後5分あったら…他に何が出来たでしょうか？
 - それが次のMVPに相当します



ワークショップ 2

ユーザーストーリーマッピングで
顧客への価値・製品の価値を考えよう

乗換案内システム

- あなたは会社で新たに開発する「乗換案内システム」のアジャイルチームに配属されました。
- 乗換案内システムは機能を絞りつつ、ユーザーに合わせて機能を追加していくつもりです。

全機能載せ乗換案内システム（案）

※乗換案内システムが世の中に存在しない前提で考えてください。

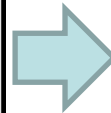
[ログイン](#)

出発 到着

移動日 出発時間 到着時間

☒ 鉄道路線 ☒ 路線バス

ログインすると
よく使う検索候補として
過去の検索を保持するこ
とや定期情報を登録する
ことができる



検索結果	出発～到着時間	金額
ルート等表示 【遅延有】		
検索結果	出発～到着時間	金額
ルート等表示		

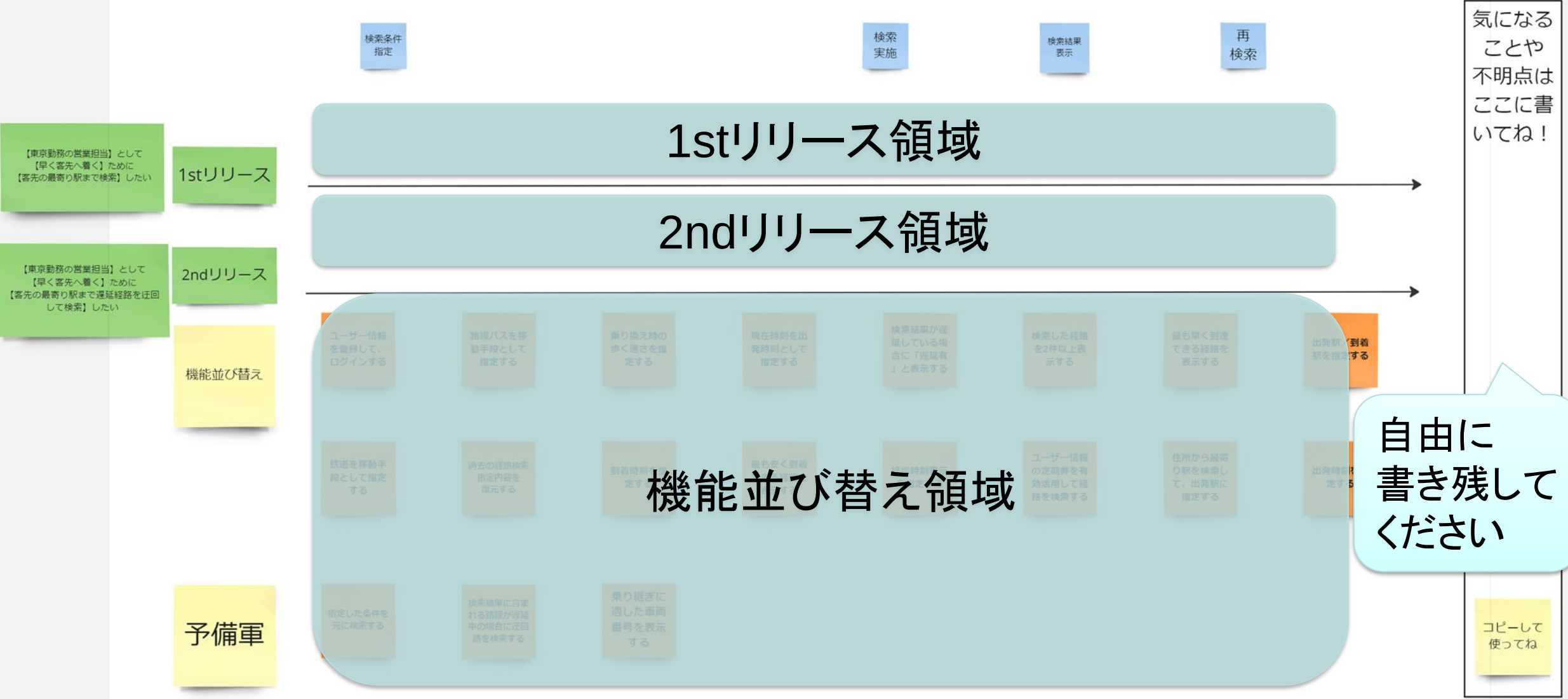
検索した結果の並び順は
要検討

検索結果を押下するとさら
なる詳細結果を表示する

ワーク作業スペース（Miro版）

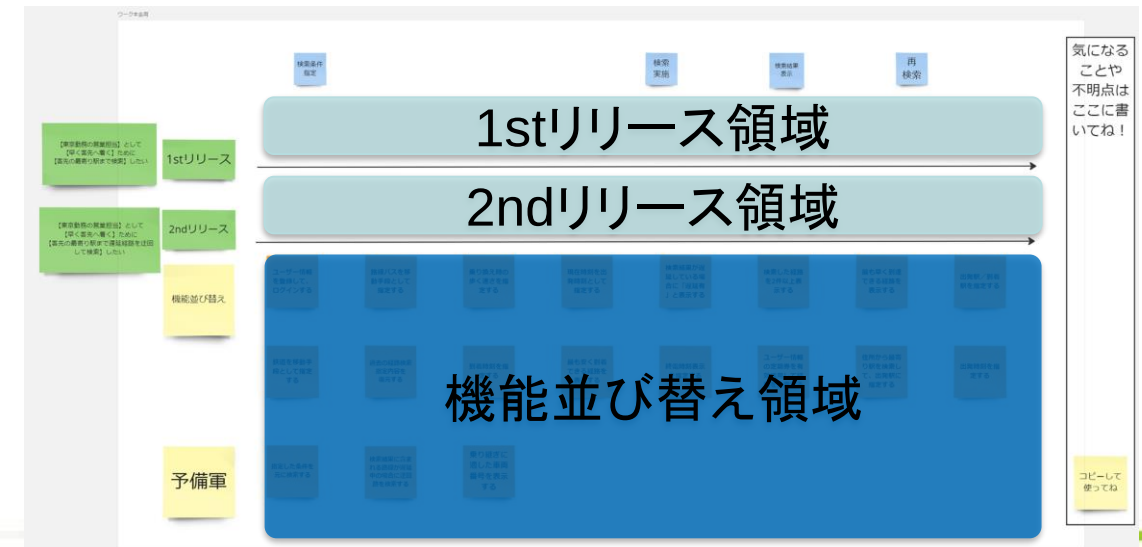


ワーク作業スペース（Miro版）



🕒 機能力カードを時系列順に並べよう！（10分）

- 機能力カードの内容をチームで確認しながら、時系列に並べよう
 - － 過去から未来へと左から右へ、似たような付箋は上下にまとめます
- 機能力カードが時系列に並びにくい場合は、チーム内で話し合って決定してください
 - － 時系列の位置決め迷ったら
時系列のガイド付箋「検索条件指定」「検索実施」などを使ってください



ストーリーカード

- システムがユーザーにとって
どのような価値をもたらすのかを示すもの
 - 【who】として【 why 】のために【 what 】したい
- 1stリリースのストーリーカード

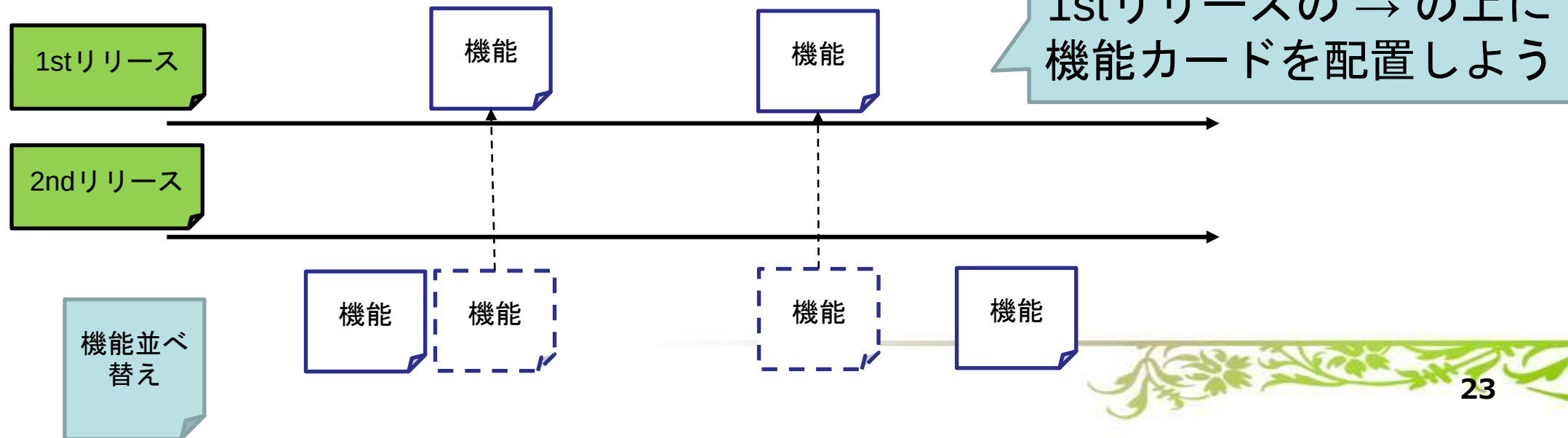
【東京勤務の営業担当】として
【早く客先へ着く】ために
【客先の最寄り駅まで検索】したい



出典：いらすとや

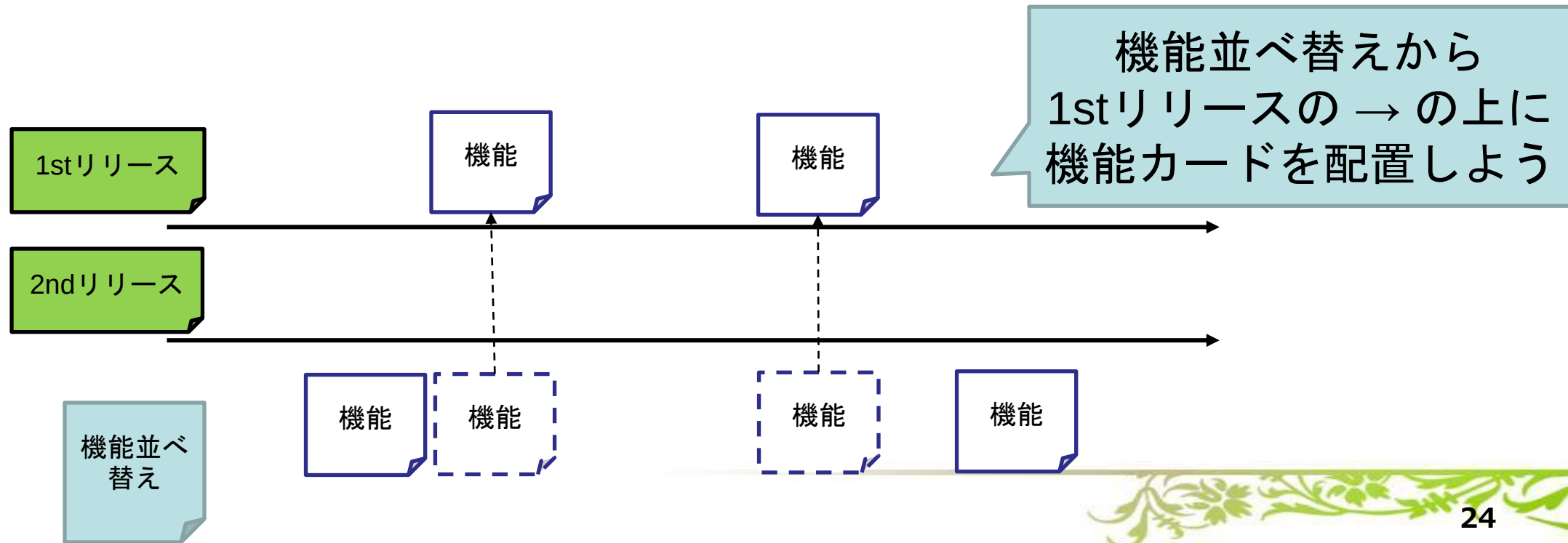
1stリリースのMVPを選ぼう（10分）

- ストーリーカードに最適なMVPに必要な機能カードを選び、1stリリースに並べてみよう
- 機能並び替えにある機能カードから必要なものを1stリリースに移動しよう



🕒 1stリリース (15分)

- 1stリリースのMVPを選ぶ (10分)
- 共有しよう (5分)



1stリリースの後で

- 無事に1stリリースを終えた後、次に追加すべき機能を考えていたところ、以下の要求が挙がった
 - 「昨今、強風など既定路線の遅延が多いため、迂回するニーズを取り入れて欲しい」
- 2ndリリースのストーリーカード

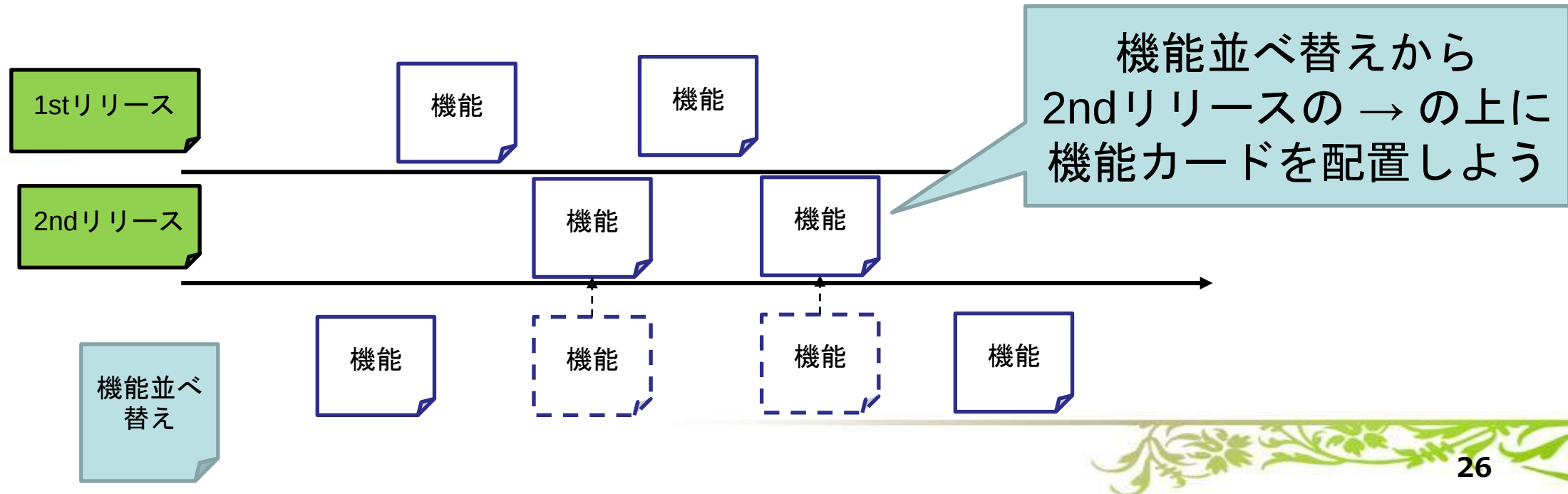
【東京勤務の営業担当】として

【早く客先へ着く】ために

【客先の最寄り駅まで遅延経路を迂回して検索】したい

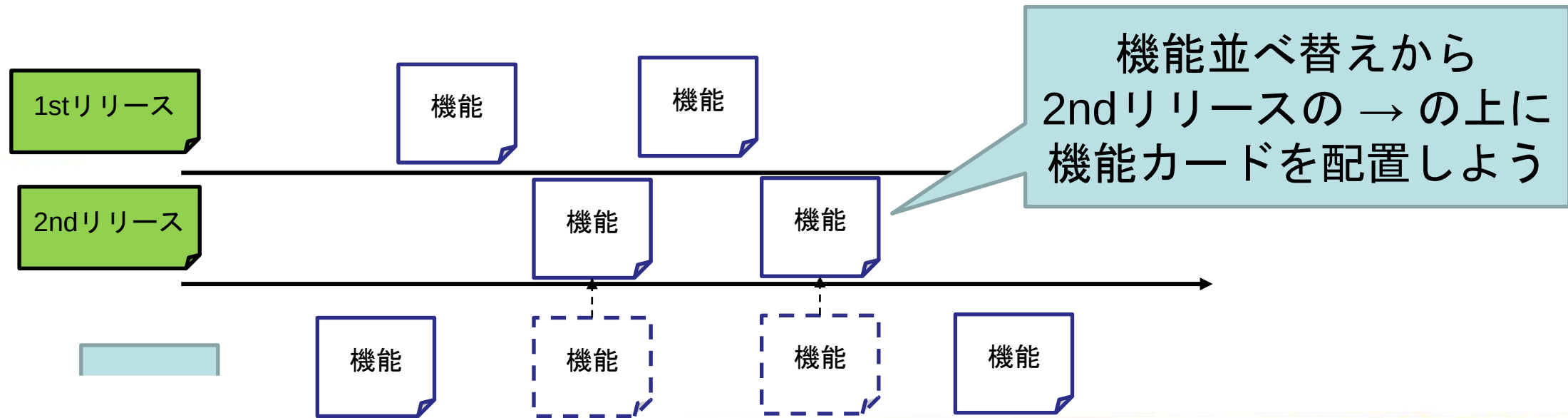
2ndリリースのMVPを選ぼう（7分）

- 既に1stリリースの機能は実装済みです
- 機能並べ替えから該当するMVPを2ndリリースへ移動しよう

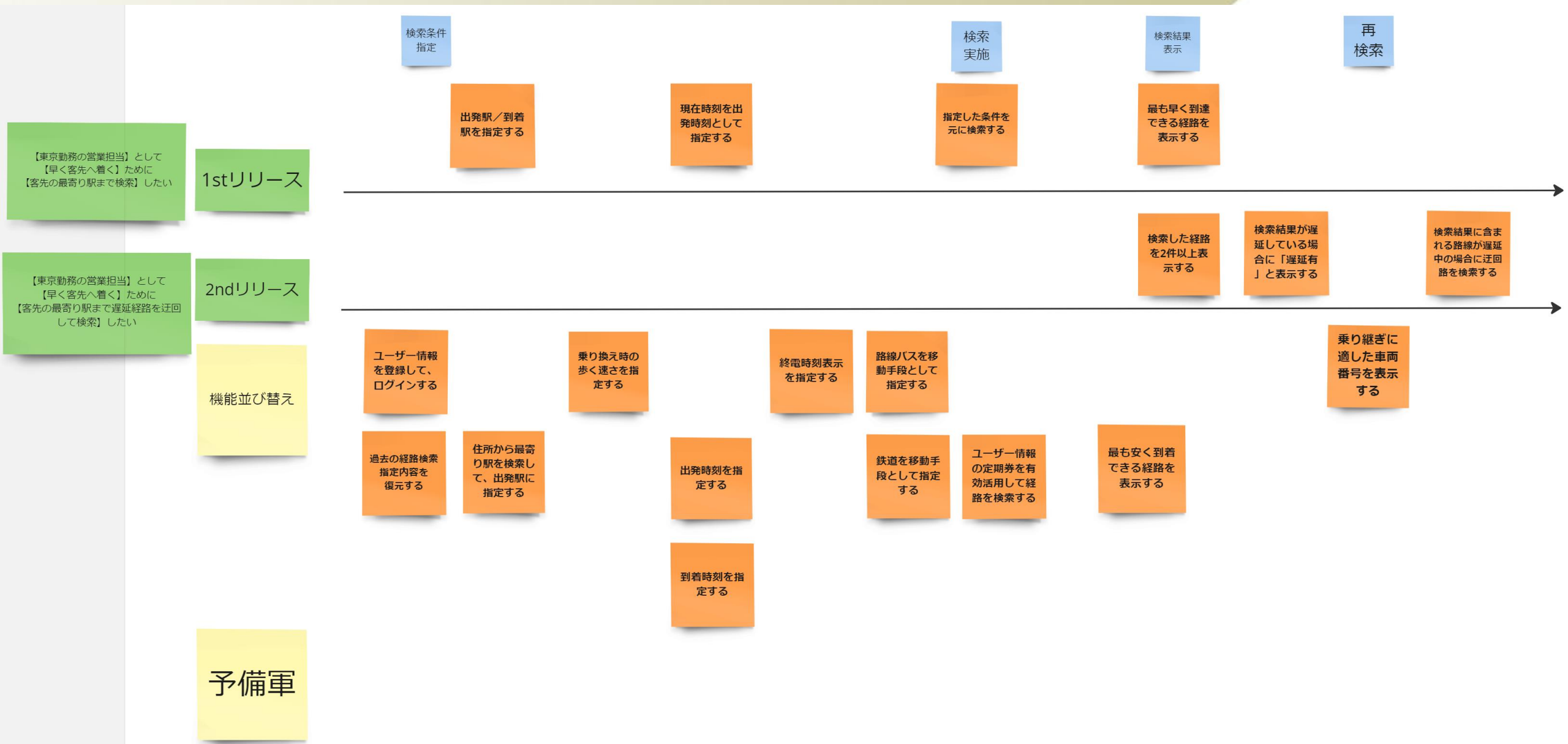


🕒 2ndリリース (12分)

- 2ndリリースのMVPを選ぶ (7分)
- 共有しよう (5分)



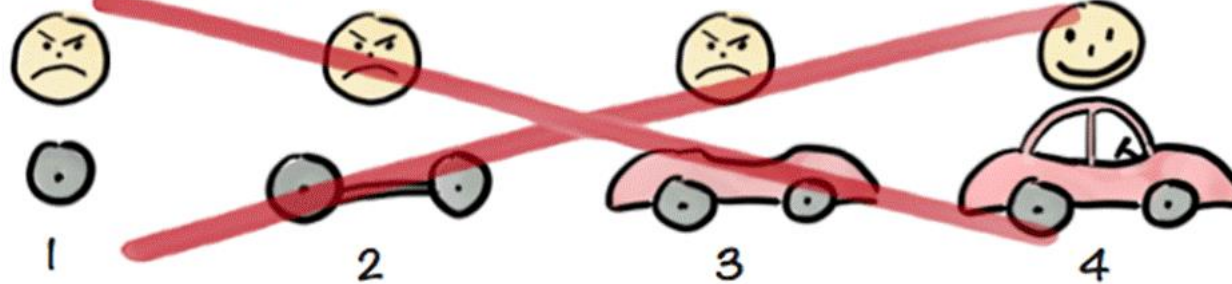
実行委員での実施結果



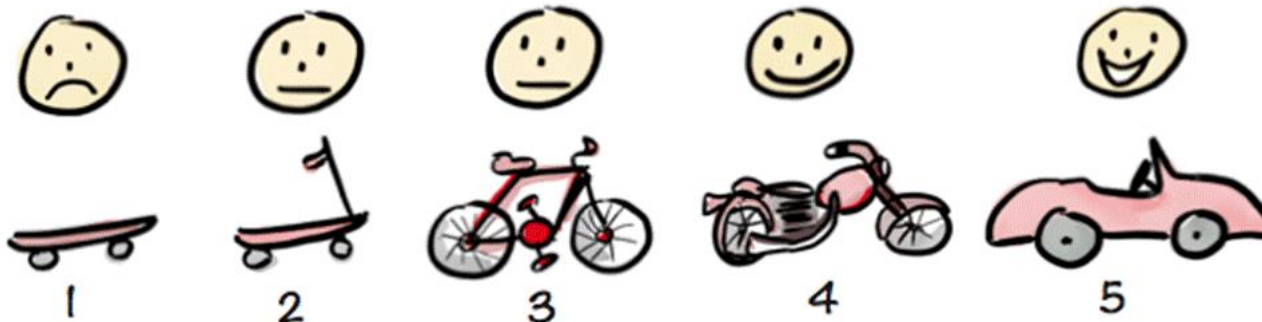
アジャイル開発

- 「ユーザーに価値ある製品を早く届ける」ための開発手法
- 顧客に必要なものを小さく／早く作り、検証し
価値の正しさを確認しながら進む

Not like this....



Like this!



引用：
『ユーザーストーリーマッピング』
Jeff Patton 著
(オライリー・ジャパン)

ユーザー視点

- 本ワークはストーリーカードを通じて、MVP（価値を提供できる最小限のプロダクト）としてユーザーに必要な機能を挙げた
- システムは使われてこそ価値がある
 - 「ユーザーがどのようにシステムを使うか」を掘り下げる
 - ユーザーの要望はユーザー自身も正確に表現できない
 - 小さく作って、何度も評価していくことで使われるシステムを作る

さいごに（アジャイルテスト）

- 本ワークはアジャイル“テスト”のワークではないが、
テストの価値検討に重要な「ユーザー視点」を考える構成
 - 膨大な量のテストから重要な／時間をかけるべきものを
考えるうえで、「ユーザー視点」は重要な指標
- アジャイル開発のテスト実施は
チーム／組織の成熟度で異なり正解が分からない
 - インスプリント：スプリント内でテスト実施
 - アウトスプリント：開発スプリントとは別にテスト実施